

令和7年度 学校教育に関するアンケート結果について(お知らせ)

2学期末に実施しました学校教育に関するアンケートに御協力いただき、ありがとうございました。
アンケート結果の概要と今後の学校の取組についてまとめましたので、御一読ください。

1 集計結果

保護者アンケート			児童アンケート	
評価領域	評価項目	肯定率	評価項目	肯定率
教育課程 ・ 学習指導	一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	97%	友達と一緒に学習することが楽しい。	96%
	教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に取り組んでいる。	95%	授業や家庭学習で、タブレットなどの情報機器をよく学習に使っている。	92%
	児童の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	94%	進んで学習に取り組んだり、外で元気に遊んだり体を動かしたりしている。	86%
	地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う児童の育成に努めている。	97%	地域のことを学習し、地域を大切にしようと思っている。	93%
人権・同和 教育 ・ 生徒指導	人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	94%	いじめや差別を許さない気持ちをもっている。	96%
	「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童の実態に応じた適切な指導を行っている。	93%	学校や学級のきまりを守っている。	93%
キャリア教育	将来に夢を持ち、自分の進路や生き方について考える児童を育てている。	90%	夢や目標をもって生活している。	86%
安全管理	児童に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	96%	交通安全やけがの防止に気を付けて生活している。	95%
保健管理	家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童の健康保持・増進に努めている。	93%	手洗いをしたり、水分補給をしたりして、健康管理に努めている。	92%
	換気や手指衛生などの、基本的な感染症対策を行っている。	96%	日ごろから、感染症予防に気を付けて生活している。	90%
特別支援教育	特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	97%	先生たちは、困ったことがあったら、話を聞いてくれたり、相談にのってくれたりしている。	94%
組織運営	管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	94%	困ったことや相談したいことなどがあったときに、いろいろな先生が話を聞いてくれる。	94%
研修	子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる。	94%	授業の内容はよく分かる。	91%
保護者・ 地域との 連携・ 情報提供	教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	95%	地域の人や施設などと関わった授業や活動をしている。	84%
	学校・学年だよりやホームページ、配信システム等により、積極的に情報を発信している。	95%		
教育環境設備	言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	97%	授業の中で友達と考えを深め合う話し合い活動があったり、作った作品が掲示されたりしている。	90%
幼保小中連携	小1プログラムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	77%	幼稚園や保育園、他の学校との交流活動を行っている。	63%
	関係園・校で連携して児童への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。	80%		

※ 肯定率とは、「とても思う(あてはまる)」「やや思う(あてはまる)」と回答のあった合計値(%)です。

2 考察

校内の大規模改修が終わり、様々な教育活動に制限なく取り組むことができるようになりました。充実した学習環境の中で、「子どもたちの学習意欲を高めるために何ができるか」「学年の学習の基礎・基本を身に付けさせるためにどのような手立てが効果的か」等、教職員で知恵を出し合いながら教育活動のさらなる充実を目指しました。

保護者の方々や地域の皆様には、そのような本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

【保護者アンケートの結果について】

- 肯定率の高い項目として「分かる喜びと共に学ぶ喜びを実感できる授業」「地域に根ざした教育」「個に応じた適切な配慮や指導」「言語活動の充実及び展掲示の工夫」が挙げられます。ICT機器の活用に関しては、調べ学習や思考する学習、習熟を図る学習場面における活用技能も随分高まっています。また、学習課題の設定から学習の振り返りまで、学習意欲を持続させながら取り組めるように学習展開を工夫し、学んだ学習内容が思考力・表現力・判断力へつながるようにするなど、様々な学習方法を取り入れています。今後も、デジタルとアナログのよさをミックスした学習スタイルのあり方についてさらに研修を深めたいと思います。
- また、子どもたちの学びの力を高めるために、話し合い活動「つながるタイム」を充実させています。話し合いの目的を明確にし、集団思考による個々の学力の定着と向上を図るとともに、コミュニケーション力が高まるように工夫しています。今後も、学ぶことの楽しさと分かることの喜びを十分に味わうことができる授業を行っていききたいと思います。
- 各学年の学習活動や全校での集会活動、地域の方々と連携した教育活動の様子について、毎日ホームページで情報を発信しています。保護者の方々から「子どもたちの学校での活動の様子がよく分かる」「一年間の様子を知ることができ、我が子の成長がとてもうれしい」等のお声をいただきました。今後も引き続き、雄郡小学校の特色ある教育活動を中心に多くの情報を発信できるよう努めます。
- 自由記述の欄には、教職員の子どもへの関わり方や学習指導の工夫・改善等について、さらなる向上を期待する内容や御要望がありました。これらの御意見を謙虚に受け止め、次年度に向けて課題を整理し、解決に向けた体制を整備し、一層の努力をしてみたいと思います。
- 学習・生活指導や明るく楽しい学校づくりなどについて、教職員への労いや感謝のお言葉をたくさんいただき、励みになりました。ありがとうございました。

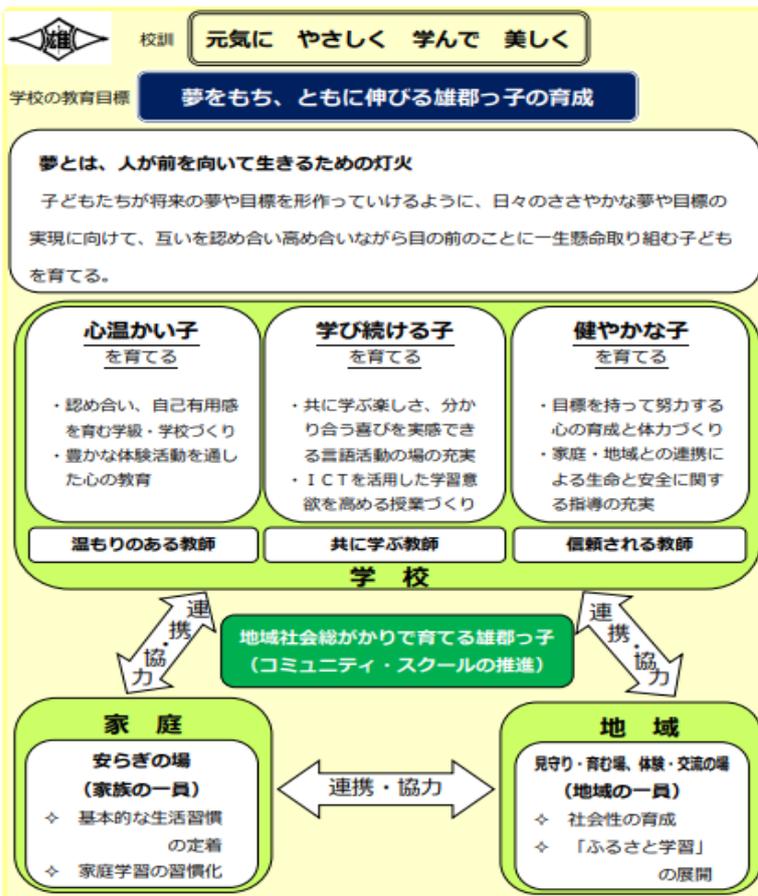
【児童アンケートの結果について】

- 今年度から、評価領域に合わせて評価項目を変えました。昨年と同様、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」という項目において、高い肯定率を示しています(96%)。また、「友達と一緒に学習することが楽しい」という項目も高い肯定率を示しており、学校全体の教育活動を通して「社会の中で生きていくための人と人との関わり合い」について学ぶことができていることをうれしく思います。しかしながら、実生活の中では自分の感情をコントロールし、いつも他者と適切なコミュニケーションがとれるとは限りません。些細なことでトラブルに発展したり、集団との関わりがうまくできなかつたりします。そのような場合には、教職員に相談し解決を図り、より楽しく充実した学校生活を送ることができるよう支援をしてみたいと思います。今後も引き続き、困ったことや悩み事を抱えている子どもに寄り添い、相談にのりたいと思います。
- 「元気に体を動かす」「夢や目標をもって生活している」について、肯定率が低くなっています。体力づくりについては、熱中症や感染症予防のため、残念ながら休み時間の遊びに制限を掛けざるを得ないことがありました。しかし、体育委員会が主体となり、「雄郡SASUKEプロジェクト」などの誰でもが楽しめる活動を企画しました。キャリア教育については、日々の教育活動を通して、豊かなキャリアを築くための土台となる考え方を育てるよう、引き続き教育活動の環境を整えていきます。

【まとめ】

今後も、最新の教育情報について研修を進めながら、子どもたちにとってよりよい教育環境を整備するために、御家庭・学校・地域が連携し、より一層協力体制を築き上げていきたいと思ひます。そして、これからも子どもたちが笑顔で学校生活を送ることができるよう教育活動に取り組んでいきます。今後とも雄郡小学校の教育活動について、御理解と御協力をよろしくお願ひします。

令和7年度 教育計画



【心温かい子】〈互いに認め合い、自己有用感を育む〉

体験活動の中で、コミュニケーション力の育成に力を入れていきます。発達段階に応じた個々の成長の様子を見守りながら他者とのよりよい関わり方が学べるようにしています。関わる対象者のすばらしい生き方に共感したり、学び手としての子どもたちは互いのよさを認め合いながら協力して活動したりしてきました。また、校訓に示された「美しく」を意識し、「相手の気持ちを考えて、言葉を使ったり行動をしたりすることができる」ことを目指しました。心の成長が様々な活動への意欲につながっているようです。

【学び続ける子】〈学ぶ楽しさ、分かり合う喜びを実感する〉

様々な学習場面で、相手意識を持ち、身近な相手(人・もの・ことなど)と関わるような活動を積極的に取り入れました。特に力を入れたのは、「自分の思いや考えをもつ場面を設定する」ことです。このことが、小集団での話し合い活動(つながるタイム)の充実につながりました。今後は、学習のまとめや振り返り場面の「相手に分かりやすく伝わるように、自分の言葉で工夫して表現する」ことに力を入れたいと思ひます。

【健やかな子】〈目標を持って努力する心の育成と体力づくり〉

自ら主体的に取り組んだり、集団の中で協力して活動したり、互いに切磋琢磨したりしながら伸びていこうとする子どもを育てるために、自分に合ったスモールステップの目標設定を行っています。できることとできないことを明確にし、努力の仕方を工夫することで、達成感を味わうことができるようにしています。

子どもの体力低下が叫ばれる中、御家庭でも計画的に運動に親しませたり、体を動かす楽しさを味わわせたりしていただきたいと思ひます。